

第17回メソ気象研究会のお知らせ

日時：2001年5月7日（月）13：30～17：30

場所：東京大学山上会館

テーマ：「メソスケールシステムと周辺場との相互作用」

趣旨：多くのケースで、メソスケール擾乱の発達は特定の大規模場の条件下に見られる。一方、著しく発達したメソスケール擾乱がその周辺場の変化をもたらすことも観測事実として知られている。しかし、これらの事実についての我々の知識と理解はまだ充分ではない。今回の研究会では、この問題について、気になること、釈然としないこと、わからぬこと等をフランクに討論する。つまりスケール間相互作用の「知らざるを知るとなせ」研究会である。

コンピーナー：二宮洸三（地球フロンティア研究システム）

世話人：吉崎正憲（気象研究所）、坪木和久（名古屋大学大気水圏科学研究所）、小倉義光（日本気象協会）

プログラム

開会 二宮洸三（地球フロンティア研究システム）

講演第1部：座長 加藤輝之（気象研究所）

- (1) 柳瀬亘（東京大学海洋研究所）
ポーラーローの発生・発達機構と周辺場

- (2) 二宮洸三（地球フロンティア研究システム）
寒気吹出の擾乱の階層の様相

- (3) 山崎信雄（気象研究所）
GAME 再解析データを用いた1998年7月中国豪雨の解析

- (4) 加藤内蔵進（岡山大学）
中国大陸上の梅雨前線低気圧の発達とメソ対流系（休憩）

講演第2部：座長 永戸久喜（気象研究所）

- (5) 柴垣佳明（大阪電気通信大学）
MU・気象レーダーで観測したメソ α スケール低気圧近傍の鉛直流と降水雲の階層構造

- (6) 若月泰孝（名古屋大学大気水圏科学研究所）
メソスケール対流系の事例解析（メソ α 系との関係）

- (7) 加藤輝之（気象研究所）
メソモデル実験に見られるレインバンドとその周辺場との関係

- (8) 総合討論：二宮洸三（地球フロンティア研究システム）

（総合討論では、上記発表者以外からのOHP2～3枚（3分程度）のコメントの自由発表（飛び入り）を歓迎します。是非、御参加下さい。）